



## 北の台中学校PTAの “朝の声かけ運動”に協力

北の台中学校PTAの校外生活委員会は、例年実施している“朝の声かけ運動”を10月1日(火)・2日(水)の両日、生徒の登校時間帯の午前7時50分から8時30分で行ないました。

今回は、両日ともあいにくの小雨ながら同校の先生やPTA役員、そして協力依頼を受けた大上地区社協や大上・蓼川・寺尾綾北の青少年健全育成会のメンバーが、同校の正門と裏門、そしてダイエー前、キグナス前の校区内4カ所で、登校する生徒に“おはよう！”と声をかけていました。



朝の声かけをする会員(右側の2人)

## 北の台小学校PTA主催の “わいわいサークル”にも協力

北の台小学校PTAが主催する恒例の“わいわいサークル”が、今年は11月2日(土)に同校のグラウンドで、午前10時から午後1時までの時間帯で行なわれた。

この催しは、子ども達と地域の人たちとの交流を目的として同校のPTAが毎年実施しているもので、PTAを中心に大上地区社協や自治会、青少年健全育成会、蓼川地区社協、サッカー団など14の団体が24店を出し、豚汁、焼きそば、餅、玉こんにゃく、焼き鳥、水あめ、フランクフルト等を販売。そしてフリーマーケットやおもちゃ遊び等で、子ども達や保護者と近隣の千人近い人たちが参加して秋の一日を楽しんでいました。特にオープニングで、北の台中学校の吹奏楽部が特別出演して催しを盛り上げていました。

大上地区社協は、昨年につき『みんながなかよくなる木』と題し、風船に子どもたちに思い思いの顔を描いていただき、これを大きな竹に結び顔を寄せ合って仲良くなる様子を表現した造形遊びを行いました。また、学校とPTAから大上地区社協にイベントで使用した舞台の設営を依頼され、当日はグラウンドに特設舞台を作って協力しました。



子ども達は風船に思いを表現



特設舞台も作って協力する

## “ファミリー秋祭り”に協賛する

綾瀬市の補助金で運営されている障がい者の通所施設「ファミリー」は、今年も11月2日(土)に“ファミリー秋祭り”を催し、通所者が作った味噌やしおり等の自主製品や、協賛団体が出店した田楽、フランクフルト、コーヒー等の販売に笠間市長や市社協の増田会長を始め、近隣の大勢の人が集まっていました。

大上地区社協は、この催しに大上自治会等と共に協賛しており、ファミリーがある9区の奥田理事が実行委員として参画しています。



手作品も販売するファミリー秋祭り